

# STAX electrostatic earspeakers

●1960年に発売されたコンデンサー型ヘッドフォンSR-1。この音の素晴らしさはオーディオファイルは勿論、世界中の音楽ファンに広まりました。30年間にわたる歳月で磨きかけられたイヤースピーカー。スタックスがヘッドフォンと呼ばずにイヤースピーカーと名付けたのは、他の方式では味わえないビュアな音を再生できる能力を表現したかったからに他なりません。この差をあなたご自身の耳で確かめてください。スタックスのコンデンサーイヤースピーカーがレコードの検聴やモニター用として放送局やレコード会社で広く使用されていることはすでにご存知の方も多と思います。これはスタックスのイヤースピーカーの音質が、非常に優れているからにはほかなりませんが、一般的にヘッドフォンがスピーカーシステムより高いクオリティを獲得しうる要素としていくつか掲げることができます。すなわち①リスニングルームの音響条件に左右されない。②発音ユニットの空気負荷が少なく振動系の軽量化が可能となり、トランジェント特性の向上が望める。③スピーカーシステムを使用する際に起こるプレイヤーへのハウリングが全くない。④耳にほとんど直接、音が入るのでどんなに微細な音も聴き取ることができる。

——これら一般的な特長に加えてコンデンサー型では①振動系に薄さ数ミクロンの高分子フィルムを使用するので紙(コーン紙)や金属に比べ非常に軽くすることができ一層微弱な信号も確実に音に変換できる。②ダイナミック型のようにマグネットを使わないので、磁気歪から解放される。③静電気力で振動膜全体を制御するので発音体(振動膜)の分割振動が非常に少ない。——などの利点をつけ加えることができます。それぞれ個性を持ったSR。プロを含めて9機種、あなたにぴったりのイヤースピーカーをお選びください。

## SR-Σ (シグマ)

新製品 Professional ¥46,000  
Normal ¥38,000



●スタックスが4年の歳月を費やして開発に成功したSR-Σは大型ユニットの採用とユニットを耳の前方に配置する独特の構造によりこれまでのヘッドフォンでは望み得なかった音場の拡がり感を見事に再現しました。これにより音が頭の芯に集中する事も無く長時間のリスニングが楽に行なえます。更に振動膜を1ミクロン(これまでの1/2)固定極間のギャップを1,000ミクロン(ノーマルは600ミクロン)、ケーブルにPC-OCCを採用したSR-ΣProfessionalが発売されました。

交換用イヤースピーカー Σ用¥1,800 /用¥1,500

## SR-Λ (ラムダ)

新製品 Signature ¥41,500  
Professional ¥32,000  
Normal ¥28,000



SR-Λのデザインと性能はCEショーで高く評価され、デザイン・アンド・エンジニアリング賞が贈られました。

●SR-Λは、「人間の耳の形状を再認識する」という命題のもとに開発され、SR-Σの小判型大型ユニットを発音体として生まれました。耳たぶの向きに合わせ、わずかに斜め前方から音が出る様角度が付けられたユニットと密室感のおきない独特なハウジングにより音場の自然さとディテールの再現性を両立させています。耳たぶより大きい発音ユニットにより中低域は豊かに、中高域はコンデンサー型のクセのない美しい音質が、あなたを陶酔の世界へと誘います。振動膜を薄くし固定極間のギャップを上げたSR-ΛProfessional更に振動膜を薄くしケーブルにPC-OCCを採用したSR-ΛSignature(シグネチャー)もごさいます。

## SR-α PRO Excellent

¥29,000

新製品



●音質・性能では定評のあったSR-5/SR-XMk3の丸型ユニットに改良を加え、SR-ΛやΣの流れをくむケージコンストラクション(鳥籠構造)を応用したデザインを採用したSR-αPROに更なる改良が加えられました。イヤースピーカーを大型化し耳タブの下をすっぽり覆うことで、低音の充実を図り、入力ケーブルにPC-OCCを採用することで、音の透明感に一段と磨きがかかりました。

歪の少ない丸型ユニットの中高音の素晴らしさと引き締まって豊かな低音を両立させたSR-αPro Excellentは、軽やかな装着感と相まって、音楽をより豊かに楽しませてくれます。

交換用イヤースピーカー αPro Excellent用¥2,100